

令和4年度事業報告

里親開拓運動（愛の手運動）

(1) “あなたの愛の手を”の申込者状況

申込者数 <第1表>

年度		平28	平29	平30	令1	令2	令3	令4	協会発足 以来合計
神戸	市内	79	76	119	105	88	91	85	7673
	県下	129	163	136	121	106	106	104	11547
	その他	10	16	10	12	3	3	2	1207
	計	218	255	265	238	197	200	191	20427
大阪	市内	47	32	40	39	35	35	46	—
	府下	152	129	170	10	128	141	88	—
		(15)	(8)	(16)	(3)	(4)	(7)	(12)	—
	その他	201	150	183	183	125	174	173	—
計	400	311	393	331	288	350	319	26597	
合計		618	566	658	569	485	550	510	47024

神戸（神戸新聞・ラジオ関西）、大阪（毎日新聞大阪版・奈良版・京都版・滋賀版・和歌山版・島根版・鳥取版）における毎週1回の呼びかけに対する申込者数の状況は<第1表>の通りである。府下の（ ）書きは、堺市在住者。

(2) 家庭委託状況

令和4年度中に協会が取り扱った要養護児童の状況 <第2表>

		取扱 児童数	取 扱 い 状 況						
			協会 委託	児相よ り委託	推薦中 面会中	実 親 引 取	里親探 し中止	適任者 なし	人選中
神戸	愛の手 掲載児童数	40	11	0	2	0	7	4	16
	そ の 他 取扱児童数	4	4	0	0	0	0	0	0
	計	44	15	0	2	0	7	4	16
大阪	愛の手 掲載児童数	82	14	5	5	1	7	19	31
	そ の 他 取扱児童数	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	82	14	5	5	1	7	19	31

令和4年度中に委託した児童の年齢と委託予定期間 <第3表>

年 令		0	1	2	3	4	5	6	10	13	計
期 間								～	～	～	
神 戸	養子縁組	1									1
	期間不定				2			1			3
	短期										0
	週末							5	5	1	11
小 計		1	0	0	2	0	0	6	5	1	15
大 阪	養子縁組	1	4	1	3						9
	期間不定										0
	短期										0
	週末					1	1	1		2	5
小 計		1	4	1	3	1	1	1	0	2	14
合 計		2	4	1	5	1	1	7	5	3	29

(3) 協会発足以来、里親探しを行った児童の状況

昭和37年から協会が取り扱った児童の状況 <第4表>

現 在 の 状 況		神戸事務所	大阪事務所	合 計	
		S37～R5.3月末	S39～R5.3月末		
里 親 へ 委 託 し た 児 童	現在里親委託中	神戸市内	10	—	10
		兵庫県下	29	—	29
		大阪市内	—	2	2
		大阪府下	—	2	2
		堺市	—	2	2
		その他	1	12	13
	養子縁組が完了したもの		727	1200	1927
	就職および大学進学		133	32	165
	実親家庭へ復帰したもの		135	73	208
	事情があって里親から施設へ		104	96	200
	死亡したもの		3	1	4
	小 計		1142	1420	2562
	児童相談所から委託したもの		49	369	418
	週末里親へ委託中のもの		34	13	47
週末里親への委託完了したもの		168	67	235	
小 計		202	80	282	
未 委 託 児 童	現在児童相談所へ推薦中のもの	2	5	7	
	人 選 中	16	31	47	
	実親等の引き取りのため中止	281	371	652	
	里親委託方針の変更(施設)	425	828	1253	
	里親探し中に死亡	4	1	5	
小 計		728	1236	1964	
合 計		2121	3105	5226	

協会が昭和37年以来(大阪は昭和39年以来)里親探しを行った児童の現状の内訳は<第4表>の通りである。

令和4年度 事業報告

－ 神戸事務所 －

I 里親家庭及び養育希望者のための研修とレクリエーション

養育希望者のための研修

里親や養親を希望する人たちのために今年度は次のような研修を行った。

■里親認定のための研修

兵庫県、神戸市、明石市から委託を受け、基礎研修6回、登録前研修は年間を通して4回開催することができた。

(1) 養育里親・養子縁組里親基礎研修

基礎研修は、DVDやパワーポイントを活用し、里親制度の基本的な意味と役割等について解説し、グループ討議などを行った。なお、平成29年度より養子縁組を希望する人たちにも研修の受講が義務づけられた。令和4年度の受講者は延べ677人と222人の増加。

施設への訪問実習は中止とせざるを得なかったため、DVDの視聴と施設職員による講義に代えて会場とオンライン参加の両方で6回実施した。

		日時	会場	参加者数 (人)	うち 兵庫県	神戸市	明石市
第1回	講義	令和4年 4月16日(土)	神戸市立総合福祉センター第5会議室	40	29	11	0
	実習	4月22日(金)	神戸市立総合福祉センター第5会議室 & ZOOM(神戸少年の町・少年の町乳児院)	73	55	16	2
第2回	講義	6月17日(金)	神戸市立総合福祉センター第5会議室	46	26	17	3
	実習	7月5日(火)	神戸市立総合福祉センター第5会議室 & ZOOM(神戸真生塾・真生乳児院)	48	32	14	2
第3回	講義	8月4日(木)	あすてっぷ KOBE セミナー室1・2	68	44	22	2
	実習	9月7日(水)	神戸市立総合福祉センター第5会議室 & ZOOM(神戸少年の町・少年の町乳児院)	62	40	20	2
第4回	講義	10月1日(土)	あすてっぷ KOBE セミナー室1・2	57	35	10	12
	実習	11月2日(水)	神戸市立総合福祉センター第5会議室 & ZOOM(神戸真生塾・真生乳児院)	53	31	9	13
第5回	講義	令和5年 1月12日(木)	あすてっぷ KOBE セミナー室1・2	65	47	12	6
	実習	2月1日(水)	神戸市立総合福祉センター第5会議室 & ZOOM(神戸少年の町・少年の町乳児院)	51	34	10	7
第6回	講義	2月18日(土)	西日本こども研修センターあかし	54	39	11	4
	実習	3月1日(水)	神戸市立総合福祉センター第5会議室 & ZOOM(神戸真生塾・真生乳児院)	60	42	14	4
(延べ人数)合計				677	454	166	57

(2) 養育里親・養子縁組里親登録前研修

平成29年4月より養子縁組里親登録希望者にも研修の受講が義務づけられたため、研修の2日目に1時間の養子縁組に関する特別講義「養子養育と養子縁組」を行い、190人が受講した。登録前研修の受講者は延べ946人。

		日時	会場	参加者数 (人)	うち 兵庫県	神戸市	明石市
第1回	講義	令和4年 5月21日(土)	あすてっぷ KOBE セミナー室1・2	86	57	25	4
		22日(日)		88	59	25	4
	<養子縁組研修受講>			53	29	20	4
	実習	4月～7月	県下および神戸市内の乳児院・ 児童養護施設で実施(2日間) 姫路市市民会館 第2会議室	90	61	23	6
第2回	講義	9月23日(金祝)	県下および神戸市内の乳児院・ 児童養護施設で実施(2日間) 姫路市市民会館 第2会議室	86	56	27	3
		24日(土)		84	54	27	3
	<養子縁組研修受講>			55	38	17	0
	実習	8月～10月	県下および神戸市内の乳児院・ 児童養護施設で実施(2日間)	65	42	16	7
第3回	講義	11月25日(金)	あすてっぷ KOBE セミナー室1・2	59	34	16	9
		26日(土)		60	35	16	9
	<養子縁組研修受講>			30	18	6	6
	実習	10月～12月	県下および神戸市内の乳児院・ 児童養護施設で実施(2日間)	88	58	28	2
第4回	講義	令和5年 3月8日(水)	あすてっぷ KOBE セミナー室1・2	90	60	20	10
		9日(木)		90	60	20	10
	<養子縁組研修受講>			52	36	15	1
	実習	1月～3月	県下および神戸市内の乳児院・ 児童養護施設で実施(2日間)	60	31	20	9
(延べ人数)合計				946	607	263	76
<養子縁組研修受講>合計				190	121	58	11

■養子縁組を希望する人のための研修

・養子を育てたい人のための講座

今年度は、神戸、宝塚、姫路で各1回、計3回開催した。令和4年度は3会場とも1日のプログラムとし、午前中はドキュメンタリーDVDを見てグループ討議し、午後は養親の子育て体験談を中心に、小グループに分かれて話し合いの時間をもった。兵庫県、神戸市、明石市に於いては、今年度も養子縁組里親の登録を希望する人はこの講座を受講することによって登録前研修、および更新研修の約1時間の養子縁組に関する講義に代えることができることになっている。受講者は74人。

会場	場 所	日 時	参加人数
神戸	神戸市立総合福祉センター 第5会議室	令和4年7月9日(土) 10:20~16:30	33人 (20家庭)
宝塚	宝塚市立男女共同参画センター エル学習交流室	令和4年10月10日(月祝) 10:20~16:30	23人 (13家庭)
姫路	姫路市国際交流センター 第1・2会議室	令和5年2月11日(土) 10:20~16:30	18人 (10家庭)
計			74人 (43家庭)
プログラム			
第1部	ドキュメンタリーDVDの視聴とグループ討議 パワーポイントを使って里親・養親を求める子どもたちの現況の解説		
第2部	養親の子育て体験談 養親子関係を築くために考えておきたいこと (グループ討議) 養子を迎えるための手続き・養子制度の説明他		

里親家庭のための研修と支援

(1) 里親のための子育て研修会

毎年開催している2日間の「保育ボランティア養成と家族支援講座」は令和4年度も中止。

(2) 養育里親更新研修

登録里親の5年毎の更新研修が平成25年度より行われるようになり、令和4年度は以下のように実施し187人が受講。養子縁組研修受講者は123人であった。なお、実習の必要な里親は31人であり、新年度に施設実習を行う予定。

		日時	会場	参加者数 (人)	うち 兵庫県	神戸市	明石市
第1回	講義	令和4年 6月11日(土)	あすてっぷ KOBE セミナー室1・2	64	28	27	9
			<養子縁組研修受講>	45	19	23	3
第2回	講義	9月4日(日)	姫路市市民会館 第2会議室	68	39	11	18
			<養子縁組研修受講>	40	19	10	11
第3回	講義	11月18日(金)	こうべ市民福祉交流センター 第2教室	44	23	17	4
			<養子縁組研修受講>	32	17	15	0
第4回	講義	令和5年 1月26日(木)	宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室1A1B	11	10	1	0
			<養子縁組研修受講>	6	6	0	0
(延べ人数)合 計				187	100	56	31
<養子縁組研修受講>合 計				123	61	48	14
う ち 各 回	実 習	県下および神戸市内の乳児院・ 児童養護施設で実施(2日間)		8	8	0	0
				<延期者数>	31	18	13

(3) 未委託里親トレーニング研修

兵庫県から委託を受け、今年度も過去5年間に子どもの受託がない登録里親を対象に次のような研修を2回実施した。

研修テーマ	「令和4年度 里親のための養育スキルアップ講座」1回目
日時	令和4年11月3日（木祝）13:30～16:30
場所	あすてっぶKOBEセミナー室1
プログラム	<p><13時30分～14時15分> I. 里親の体験談 講師：土岩 恵子さん（里親・養親）</p> <p><14時20分～15時30分> II. 講演「思春期を見据えた支援で心掛けたいこと」 講師：人見 禎昭氏（善照学園、臨床心理士・公認心理師）</p> <p><15時40分～16時15分> III. 演習「こんなとき、どうする？」</p> <p><16時15分～16時30分> 今後に向けて（まとめ）</p>
参加人数	28人

研修テーマ	「令和4年度 里親のための養育スキルアップ講座」2回目
日時	令和5年3月5日（日）13:30～16:30
場所	姫路市立総合福祉会館 第2会議室
プログラム	<p><13時30分～14時10分> I. 講義「里親養育における喪失の理解」 講師：橋本 明（家庭養護促進協会 事務局長）</p> <p><14時20分～15時00分> II. ワーク「事例から子どもの喪失を考えてみよう」</p> <p><15時10分～16時15分> III. 演習「子育てで大切な5つのこと」 「こんなとき、どうする？」</p> <p><16時15分～16時30分> 今後に向けて（まとめ）</p>
参加人数	42人

(4) 専門里親研修

令和4年度に兵庫県の里親1人の専門里親養育実習を次のようなプログラムで実施した。

日程	実習場所	プログラム
1日間	児童心理治療施設 清水が丘学園	11:00～14:30 ① オリエンテーション ② 施設の説明と見学 ③ 講義「愛着に課題をもつ子どもへの支援」

4日間 (うち1泊の 宿泊を伴う研 修含む)	児童養護施設 睦の家	<ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設の機能 ・被虐待児への日常生活における援助方法 ・被虐待児の家庭復帰にむけた援助 ・子どもの権利を守る取り組み
1日間	知的障がい児施設 春日学園	10:00～17:00 知的障がい児施設の機能 知的障がい児の理解と支援
1日間	兵庫県中央 こども家庭センター	13:30～16:30 ① 講義「発達障がい児の理解と援助」 ② 講義「関係機関との連携」 ③ 実習の評価及び意見交換 ④ 一時保護所の見学

(5) 養子縁組制度の説明と懇談

今年度は中止とした。

(6) 真実告知研修会

今年の真実告知研修会は以下のように開催した。今回は第1部で養親からのお話と、それを聞いてグループでの話し合い、第2部で「告知の始まり～出自を知る権利の理解と対応」というテーマで協会から解説した。参加者42人。

日 時	令和5年3月18日 (土)
場 所	あすてっぷKOBE セミナー室1・2
参加者	42人

(7) 里親支援プログラム

■「里親サロン」の開催

里親サロンも19年目となり、令和4年度は延べ265人の参加があったが、定例会の参加者は減少している。季節ごとのレクリエーション等の行事は参加者が多く、198人となっている。

里親サロン開設月と参加人数

	月	令和4年										令和5年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		遠足			遠足	木工教室				クリスマス会	中止		遠足		
参加 人数 (人)	里親	31	10	8	12	11	8	9	7	6	30		8	17	157
	こども	22				10	5	2	2	2	26		1	15	85
	保育ボランティア														0
	講師その他	7				5	1				6			4	23
	計	60	10	8	12	26	14	11	9	8	62		9	36	265

里親家庭の親睦と交流

(1) 2022年度里親家庭ぽんぽこ1日リフレッシュツアー

令和4年度も例年のキャンプが開催できなくなったため、夏のキャンプに代わる交流イベントとして、10月29日に徳島県へ「1dayリフレッシュツアー」を行った。

日 時	令和4年10月29日(土)
場 所	・徳島県 あすたむらんど徳島 ・鳴門公園(散策)
参加人数	45人(職員含む)

(2) 新春初笑い大会

今年は初めて長田区文化センターで開催した。午前中は長田区のシンボル鉄人28号の前で家族ごとの写真を撮り、近くの商店街でオリエンテーリング。午後はワールドカップにちなんで知恵を凝らしたゲーム大会を実施。参加者も久しぶりの顔合わせで楽しい時間を過ごすことができた。

日 時	令和5年1月8日(日) 10:30~15:30
場 所	神戸市立長田区文化センター 大会議室
参加人数	81人(ボランティア・職員含む)

グループぽんぽこの活動

中・高校生の里子、養子及び社会人のボランティアを中心とした「グループぽんぽこ」の活動は、夏のキャンプが中止になったこともあり、ここ数年メンバーが集まる機会が少なかったが、新春初笑い大会では久しぶりにゲームや司会の進行を担当し、それぞれの役割を果たし、成長した姿を見せてくれた。

II 季節里親・週末里親の促進事業 (NHK 歳末たすけあい受配事業)

(1) ボランティア里親の募集と説明会

季節里親・週末里親を募るための説明会を11月12日に開催した。プログラムは養護児童の現状についてパワーポイントで説明、ボランティア里親の意味や役割について話した後、週末里親さんから自身の活動について話していただき、参加者との意見交換を行った。説明会の後、希望者には受付面接を行った。

日 時	令和4年11月12日(土) 13:30~15:30
場 所	神戸市立総合福祉センター 第5会議室
参加人数	45人

(2) 季節・週末里親の活動報告と交流会

コロナも収束の傾向が見られたので、4年ぶりに活動報告と交流会を開催した。ボランティア里親も年々増え、中・高校生との交流も多くなってきたので、お互いの課題を共有し、より良い交流が継続できるよう、研修や情報交換の機会を今後も持っていきたい。

日 時	令和5年2月23日(木祝) 13:30~16:30
場 所	神戸市立総合福祉センター 第5会議室
参加人数	26人

委託・交流中の児童の状況（神戸事務所）

季節里親

〈令和5年3月末〉

年齢別 人数	幼児 (2～6)	小学生 低学年 (6～9)	小学生 高学年 (9～12)	中学生 (12～15)	高校生以上 (15～)	合計
夏 季	3	12	13	14	15	57
冬 季	4	13	19	14	15	65

夏季には57名の児童が54家庭に、冬季には65名の児童が61家庭と交流を持つことができた。施設の子どもや里親宅に新型コロナウイルス感染があった場合、個別に交流中止となることはあったが、ほとんどの施設で面会や外泊などの交流が通常どおりもてるようになった。

週末里親

〈令和5年3月末〉

年齢別 人 数	幼児 (2～6)	小学生 低学年 (6～9)	小学生 高学年 (9～12)	中学生 (12～15)	高校生以上 (15～)	合計
	2	9	13	10	8	42

今年度末で、週末里親との交流が継続している児童は42人。年齢の内訳は上記の通りである。社会状況によって面会が延びたり、中止になったりするという影響はあったものの、多くの施設で、できる範囲の交流をすすめている。

Ⅲ 子育て支援活動

(1) 「子育てサポートグループぼちぼち」の活動

「スポチャンくらぶ」の開催

発達凸凹のあるこどもが参加できる運動&療育の機会として、親子スポーツチャンバラ教室「スポチャンくらぶ」を2か月に1回、開催の予定であったが、感染防止等のため、1回は中止、1回は延期になり、4回の実施であった。

日 時	令和4年5月29日(日)、7月24日(日)、9月25日(日) 令和5年1月29日(日)
場 所	神戸市障害者福祉センター 体育室
参加人数	各10人
タイトル	「スポチャンくらぶ」
講 師	横山 裕行氏 (Total Budo Gym 武道 松朗館 代表)

(2) 子育て相談

配布している子育てサポートカードやHPを見て、子育てについての相談の電話がある。

発達障害のある子どもの進学、大人になってからの療育手帳の取得や支援、親の介護と無職の成人などについての相談があった。

Ⅳ 第8回里親支援に関わるWORKERのための研修

3年ぶりに開催。「真実告知を考える」というテーマで下記のようなプログラムを行った。

研修テーマ	里親支援にかかわるWORKERのための研修「真実告知を考える」
場 所	あすてっぷKOBE セミナー室1, 2
日 時	令和4年11月11日(金) 11:30～16:30
プログラム	<11時00分～12時00分> I. 講義「アメリカの文献から学ぶ真実告知」 講師：橋本 明（家庭養護促進協会） <13時00分～14時00分> II. 講演「真実告知と出自を知る権利の課題を考える」 講師：森 和子氏（文教学院大学教授） <14時15分～15時00分> III. 参加者の意見交換 <15時15分～16時30分> IV. リレートーク「現場から告知を考える」 森 和子氏、米沢 普子（家庭養護促進協会）
参加人数	66人

V 里親・養子縁組相談支援事業

兵庫県より補助金を受けて、里親や養子縁組を希望する人たちへの相談を受け、また予期しない妊娠でとまどっている人たちを支援するための事業を行った。協会への直接の相談の他、他団体からの紹介を受け、妊娠に関わる相談に応じ、また妊娠して育てられない場合は特別養子縁組のあっせんを行い、養子縁組後の支援を継続している。

VI 神戸市里親会受託業務

令和2年6月より神戸市里親会の事務局を協会内に置き、事務を行っている。コロナウイルス感染防止に対応しながら、11月27日(日)に兵庫津で家族レクリエーションを開催。3月21日(火・祝)には城崎マリンワールドへの1日バス旅行を実施した。

VII 「あかし里親センター」の活動

(1) 広報・啓発事業

①チラシ等配布

企業、団体、地域等への啓発 …企業 7社、団体 7ヶ所、市関係機関 120ヶ所

②広報イベント

日程	場所	内容
5/20(金)	コープ大久保店	チラシの配布、里親パネル展示、里親クイズ、こども広場
6/16(木)	コープ西明石店	チラシの配布
7/22(金) 12/9(金)	ピオレ明石	里親パネル展示、チャリティーバザー、チラシの配布、里親クイズ
2/25(土)	ウィズフェス2022	オリジナルリース作り、里親クイズ、チラシの配布

③ マクドナルド店舗でチラシ配布

時期：5月、10月 配布枚数：12,000枚

④ ボランティア里親入門講座

日 時	令和4年6月22日（水） 14：00～16：00	令和4年10月15日（土） 10：00～12：00
場 所	ウィズあかし	
参加者	14名	

⑤ ショートステイ里親説明会

日 時	令和4年5月27日（金）、9月6日（火）、令和5年1月23日（月） 10：00～12：00（9/6は14：00～16：00）	
場 所	ウィズあかし	
参加者	13名	

（2）相談事業

①里親相談会（毎月1～2回開催）

日 程	4/15（金）、7/5（火）、7/16（土）、 9/16（金）、10/23（日）、11/9（水）、 R5/2/7（火）、3/10（金）	5/11（水）、6/9（木）、8/23（火）、 10/6（木）、12/14（水）、R5/1/12（木）
時 間	10：00～12：00	14：00～16：00
場 所	明石こどもセンター（7/16、10/23：ウィズあかし）	
参加者	34名	

③ 出張里親説明会

登録里親がまだいない地域で自治会回覧をしてもらいその地域の会場を使用して説明会を行った。

日 時	令和4年9月3日（土） 10:00～12:00
場 所	大観校区 当津会館
参加者	4名

③ 相談受付

市民からの問い合わせ 58件

（3）里親支援事業

① 「里親カレッジ」ー明石市の登録里親を対象とした勉強会

テーマ	第4回里親カレッジ 「思春期を迎える子どものために里親ができること」
日 時	令和5年1月14日（土） 10：00～12：00
場 所	ウィズあかし
講 師	発達行動小児科医・医学博士 稲垣 由子 氏
参加者	7家庭 13人

②里親家庭の訪問

明石市内の里親家庭訪問 6家庭 15回

(4) 里親関係機関との連携

明石地区里親会総会	5/29(日)
明石地区里親会理事会	4/17(日)、9/25(日)、R5/2/19(日)
明石市社会的養護部会	8/22(月)、12/26(月)、R5/2/14(火)、3/24(金)
里親支援連絡会	4/20(水)、5/24(火)、6/28(火)、8/23(火)、9/27(火)、 10/25(火)、11/16(水)、12/21(水) R5/1/30(月)、2/28(火)、3/17(金)

Ⅷ 広報活動

(1) こどもの日キャンペーン

5月5日こどもの日の神戸新聞朝刊1ページ県下版で45回目のキャンペーンを実施。今回は愛の手運動が60周年を迎えたのを機に「それぞれのありがとう」というキャッチコピーで、60年の歴史の重みを分厚い本で表現し、「つないだ愛の手2545組」の文字と38人の里親と子どものイラストで紙面を構成した。本の帯に養子として育った子どものメッセージを文として入れ、読者に伝える試みをした。協賛企業・団体 31社

(2) 愛の手運動の写真とパネル展、オレンジリボンキャンペーンの開催

令和4年12月1日～4日の4日間JR神戸駅南の「デュオぎやらりー」に於いて、愛の手運動の写真とパネル展、チャリティバザー、児童虐待防止のオレンジリボンキャンペーン等の啓発を行った。今回は「聴かせてください～家族のためにあなたが一番大切にしていることは何ですか？」という問いかけに、来場者にそれぞれの思いを記入していただいた。事前に2500枚のチラシを近隣の地域にポスティングして広報を行った。

(3) 里親制度をすすめるための集い

今回は初めて東灘区でオンラインと併用し、下記のような企画で開催した。最初に「僕の家族～里親里子の12年」という、親子の12年の歩みを追ったドキュメンタリーを視聴し、「こんなふうになっている里親制度」の説明では、楽しく参加型の「里親クイズ」を行った。最後に里親の養育経験を話していただき、参加者との意見交換を行った。

テーマ	知ってほしいな 里親制度と子どもたちのこと
日時	令和4年11月19日(土)
場所	神戸市東灘区文化センター
参加者	65人(オンライン参加含む)

(4) 里親出前講座

神戸市里親会と共に実施している「里親出前講座」を協会がコーディネートして、下記の大学等で行った。また、神戸市里親会主催の「里親出前講座」を3月11日(土)に神戸市兵庫区文化センターで開催した。今回も「今、こどものためにできること」というテーマで、第1部に里親リレートークとして、養育里親、養子縁組里親、ボランティア里親からそれぞれの経験を話していただき、第2部で里親制度の説明。その後、相談コーナーで相談を受け付けた。今回も会場とオンラインでの参加の両方で参加者を募った。

神戸市シルバーカレッジ(288人)、神戸婦人大学(35人)、 四条畷学園大学(85人)、里親出前講座(69人)	受講者 延べ477人
--	------------

- (5) 機関誌「育てる」No. 59 を大阪事務所と 3550 部を 10 月に発行。(共同募金配分金事業)
- (6) 機関紙「はーもにい」を 7 月、10 月、12 月、令和 5 年 3 月にそれぞれ 2900 部発行。
表紙絵を神戸市在住の画家、三原康男氏に依頼。
- (7) 「里親・養子制度をすすめるために～活動のしおり」を 2000 部増刷。
- (8) 啓発用の NOTE BOOK が品切れとなったため、1500 冊増刷した。
- (9) ボランティア里親の紹介パンフレットの在庫がなくなったため
内容を新しく改訂して 2000 部作成。

IX 講師等としての講義・講演など

6/26	岡山市養育・養子縁組里親登録前研修にて講義
7/3	大分県里親研修会「真実告知」に関する研修にて講義
7/13	兵庫県中央こども家庭センター「真実告知研修会」にて講義
8/28	徳島県未委託里親トレーニング研修にて講義
9/28	神戸市児童養護施設連盟職員部部会研修にて講義
10/16	岡山市養育・養子縁組里親登録前研修にて講義
10/30	あかしオンラインフォーラムにてパネラーとして出演
11/20	奈良県里親スキルアップ研修にて講義
11/23	島根県 益田地区里親研修会にて講義 (神戸事務所よりオンライン)
12/7	フォスタリング機関職員研修にて講義 (神戸会場よりオンライン)
12/15	四条畷学園大学看護学部にて講義
R5年1/22	徳島県未委託里親トレーニング研修にて講義
2/8	神戸市シルバーカレッジにて講義
2/10	フォスタリング機関職員研修にて講義 (神戸事務所よりオンライン)
2/22	フォスタリング機関職員研修にて講義 (東京会場よりオンライン)
3/4	滋賀県 フォスタリング機関こぼと 委託里親研修にて講義
3/28	小さないのちのドア 妊産婦ホストファミリー研修会にて講義

X 職員のための研修

次のような研修会に参加し、職員のための研修を行った。

- ① 埼玉県「実父母と養父母支援を考える～内密出産は是が非か～」(オンライン 5/25)
- ② 「近畿地区里親研修会」(京都市 6/19)
- ③ 「養子縁組機関責任者研修」(厚生労働省オンライン研修 6/28)
- ④ 「特養ソーシャルワーク研修」(養子縁組あっせん機関職員研修 8/6)
- ⑤ 「尼崎市児童相談所設置シンポジウム」参加 (8/22)
- ⑥ IFCA ウェビナー研修 (オンライン 8/25～27)
- ⑦ 「兵庫県里親会連合会リーダー研修会」(9/9)
- ⑧ 「神戸市支援者向け研修会 トラウマインフォームドケア」(9/28)
- ⑨ 「全国里親大会(山梨県甲府市)」(オンライン 10/8, 9)
- ⑩ 「特別養子縁組研究会」(10/22)
- ⑪ 「養子縁組民間あっせん機関責任者研修」(オンデマンド配信, オンライン 10/23)
- ⑫ 「ケース研究会 子どもの誕生をめぐる『出自』を考える」(オンライン 10/27)
- ⑬ 「児童福祉法改正についての勉強会」(11/5)
- ⑭ 「大阪事務所主催 全国児童相談所里親担当者連絡会」(大阪市 11/18)
- ⑮ 「神戸ダルクヴィレッジ依存症セミナー」(1/18)

- ⑩ 「養子縁組民間あっせん機関職員研修」 (オンライン 1/19)
- ⑪ 「ネグレクトと健康障害」 (オンライン 1/19, 20)
- ⑫ 「里親支援技術向上セミナー」 (オンライン 1/21)
- ⑬ 「フォスタリング機関職員研修」 (オンライン 1/24, 25)
- ⑭ 「西宮市家庭教育講演会」 (1/28)
- ⑮ 「特別養子縁組制度オンラインシンポジウム」 (オンライン 2/4)
- ⑯ 「JaSPCAN おおさかミニ学会」 (オンライン 2/19)
- ⑰ 「特別養子縁組当事者による全国フォーラム」 (オンライン 2/25)
- ⑱ 「ISSJ 子どもの生い立ちの整理を支援しよう」 (オンライン 3/15)
- ⑲ 「神戸市 HOME 環境評価研究会 発表会」 (オンライン 3/16)

XI 関係機関との連携

神戸市里親支援機関連絡会	毎月開催
今後の神戸市における里親養育支援についての検討会	4/8、5/20、6/1、8/19、10/14、12/23
フォスタリング機関検討会	5/24、7/22、10/20(豊岡)、6/30、3/15(川西) 3/15(西宮)、3/20(中央)
全国里親大会兵庫大会実行委員会	6/6、8/3、11/2、12/13、2/27、3/28

XII 生活資金・奨学資金貸付事業

今年度は、一時的な資金を必要とする人に 600,000 円 (1 名) の貸付を行い、これまでの借用者から 10,000 円 (1 名) の返済があった。また、貸付をしていた 1 人が 1 月に死去したため、貸付金額を償還免除として処理した。

XIII 活動資金を募るための活動

今年も活動資金を募るために他団体主催のバザーに出店したが、中止となったバザーもあり、出店は 1 回のみであった。

5/5	神戸新聞紙上で第 45 回目の愛の手企画キャンペーンを実施。 (名刺広告1枠44,000円で29社が協賛)	
5月	神戸まつりの湊川公園「はっぴいひろば」バザー	<中止>
7/22	ピオレ明石パネル展とチャリティーバザー	43,010円
10/2	健康・福祉フェアバザー (神戸市北区しあわせの村)	52,880円
12/1~4	「デュオぎやらりー」チャリティーバザー	766,660円
12/9	ピオレ明石パネル展とチャリティーバザー	40,080円
R5年3月	神戸市重度心身障害児 (者) 父母の会バザー	<中止>
R4年4/1~	福祉センターミニバザー	128,370円
R5年3/31	バザー協賛金	30,000円

- ・有馬向陽閣、銀水荘別館兆楽、大黒屋、シャレオ、ホテルクレール日笠からはチャリティーボックスの寄付を、またエンゼル保育園からはバザーカンパや職員・保護者から寄付を、毎年協会に寄せていただいている。
- ・ダイエー三宮店「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録し、レシート総額の 1%、7,870 円を寄贈いただき、里親サロン等での子ども用の菓子を購入した。

- ・国際ソロプチミスト神戸、神戸西ワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ、兵遊協福祉基金、（公財）井植記念会、神戸ロータリークラブ、神戸兵庫シティライオンズクラブ、神戸六甲ポートライオンズクラブ等から、活動のための支援をいただいた。

XIV その他

- （1） オリックスバッファローズ野球観戦チケット（ほっともっとフィールド・京セラドーム）を神戸市と神戸市社会福祉協議会善意銀行を通じていただいた。
- （2） 「里親と神戸市長ら行政関係者との集い」を12月11日（日）にポートピアホテルで開催した。
- （3） 神戸市社会福祉協議会善意銀行より、セブンイレブンの商品を寄贈いただき活用した。

I. 里親及び申込者のための研修と里親子のための親睦活動

【養子を育てたい夫婦のための連続講座】

平成 28 年 6 月より大阪府養子里親支援機関事業を受託し、登録前研修として位置づけられたことから、従来より回数を増やし、年 4 回実施している。また、令和元年度から大阪市においても登録前研修として位置づけられ、事業委託を受けることとなった。

講座は、連続 3 回で土曜日 13 時 30 分から 17 時 30 分（最終回は 18 時）。のべ 72 組（実数 64 組）の受講者のうち、養親候補者として推薦したのは 6 組、調査検討中 6 組である。昨年度以前に受講し、今年度推薦したのは 4 組である。依然としてコロナ禍での実施ではあるが、大阪府外の遠方からの参加者も少しずつ増えてきた。受講者の大半は登録前研修としての受講となっているため、講座受講から委託までに時間がかかるようになっており、推薦の決まった里親希望者に再度受講してもらうこともある。フォスタリング機関職員や、児相で新たに里親担当になった職員のオブザーバー参加も増えている。

		第105回	第106回	第107回	第108回
日 付		6/4, 11, 18	9/3, 10, 17	12/3, 17, 24	3/4, 11, 18
場 所		大阪市立社会福祉センター会議室/ (第107回のみ) たかつガーデン			
内 容	1 グループセッション	参加者と職員とのワーク			
	2 「養子里親の体験談」から	M夫妻	K夫妻	M夫妻	T夫妻
	3 「養子を育てること」とは…	岩崎 美枝子			
参 加 者		20組	18組	18組	16組
オブザーバー参加者		7名	7名	6名	1名

【養親ゼミナール】

平成 28 年度より、養親の関心の高いテーマで研修を年 4 回程度実施している。今年度は初めて、「真実告知」についての研修を低年齢児向けと思春期前期以降向けの 2 回に分けておこなった。

- ① 5 月 14 日（土）13:00～16:00 「真実告知 はじめての告知」（養親 25 名、養親希望者 5 名、関係機関等 5 名）
- ② 7 月 16 日（土）10:00～14:30 「真実告知 事実を告知する」（養親 7 名、関係機関等 6 名）
- ③ 11 月 12 日（土）13:30～16:30 「養子の思春期について」（養親 14 名、養親希望者 4 名）
- ④ 3 月 18 日（土）10:00～12:00 「成長した子どもからのメッセージ」（話し手：25 歳男性）（養親 10 名、養親希望者 13 名、関係機関等 8 名）

【里親子の親睦を深めるための活動】

(1) ふれあいキャンプ 8 月 16 日（火）～18 日（木）＜於：YMCA 阿南国際海洋センター（徳島県）＞
3 年ぶりに 2 泊 3 日のキャンプを実施した。小 2 から高 2 までの子どもたちの他、大学生や専門学校生となった養子もリーダーとして参加してくれた。コロナの感染予防には気を配って活動したが、キャンプ中に引率の YMCA のリーダーが発熱、帰宅後にコロナ陽性が分かり、参加者の中からも 1 名の陽性者が出た。大自然の中で、一人乗りカヤックや 14 人乗りジャンボカヌーなど、海洋プログラムを楽しみ、のびのびと過ごせた 3 日間だった。（参加者：子ども 22 名、OB リーダー 3 名、YMCA リーダーと職員 4 名、協会職員 3 名）

(2) 第 23 回おやこ DE うんどう会 10 月 30 日（日）＜於：大阪市立長居小学校＞

協会を通じて子どもを迎えた養親家庭、大阪府市の養親家庭に案内し、当日参加で楽しめるような幼児、小学生、親子競技を企画している。平成 27 年度から有志で協力してくださっていた第一工芸株式会社が 29 年度から共催となり、会社として取り組んでいただき、2 種目の競技の企画、準備、当日の競技進行を担当、また参加者への景品や飲み物も提供いただいた。当日の運営ボランティアとして、12 名の

社員さんの参加があった。事前の備品製作には5名の、当日の運営には19名の、成長した養子などを含むボランティアにご協力いただいた。会場の都合で、例年とは違う日程での開催になったが、コロナ禍でまだまだイベントの少ない時期でもあり、参加希望は多く、前年度を上回った。（参加：50 家庭 154 名、ボランティア 19 名、来賓 4 名）

(3) JBクラブ

養（里）子を養育中の母親（父親）が、子ども連れで集える「ひろば」の開催を平成18年度より継続。月に1回（10:30～15:00）、主に就園前の幼児を養育中の養（里）親家庭が参加してくれているが、秋の遠足やクリスマス会は就園児の参加も多い。養親同士で親しく会話を交わす様子がみられ、JBクラブ以外の場でも繋がりを持つようになっている。27年度までは、愛の手を通じて子どもを迎えた家庭に案内していたが、大阪府養子里親支援機関となったため、大阪府内の養親家庭にも参加を呼びかけている。また、大阪市や他団体からの養親家庭にも、希望があれば案内を送付している。公益財団法人大阪コミュニティ財団ふれあい基金のご支援は、2021年度末で終了となった。

2月はセンター改装のため会議室が使用できなかったため中止、11回開催し、参加者はのべ40家庭。今年度はやや参加者が少なかった。天王寺動物園やキッズプラザへの遠足の月は、比較的参加者が多かった。

【児童相談所里親担当者連絡会の開催】

大阪府・大阪市・堺市の子どもを委託したことのある児童相談所を中心に広く呼びかけての里親担当者連絡会は、今年で34回目となった。2日間の日程で、1日目を意見交換、2日目を学習会とした。飲食を伴う懇親会は行わず、1日目終了後に、交流会の時間を設けたところ、各所で自由に情報交換等を行うことができ、好評であった。

日 時	11月17日（木） 13時30分～17時30分 11月18日（金） 10時00分～12時30分
場 所	大阪市立社会福祉センター会議室
内 容	1日目：情報交換「特別養子縁組制度や里親委託について」 2日目：学習会「よりよいマッチングとフォローのために～養親希望者をどのように見立て、支えていくのか～」 話題提供者 家庭養護促進協会・職員
参加児相	埼玉県中央、熊谷/さいたま市南部/千葉県中央/横浜市中心、西部、南部、北部/福井県総合福祉/静岡県中央/静岡市/浜松市/愛知県中央、知多、西三河/三重県北勢、中勢、南勢志摩、伊賀/滋賀県中央、彦根、大津・高島/京都府家庭支援総合、宇治、福知山/兵庫県中央、尼崎、西宮、姫路、豊岡/奈良県中央、高田/奈良市/岡山市/広島県東部、北部/徳島県中央/香川県子ども女性相談/高知県中央/大阪府中央、池田、吹田、東大阪、富田林、岸和田/大阪市中央、北部、南部/堺市 49児相

II. 里親制度に関する広報活動

【機関紙・誌の発行】

(1) 月刊紙「あたらしいふれあい」の発行

大阪府共同募金会NHK歳末助け合い配分金をいただき、継続して発行できている。毎月3,300部を印刷し、約3,000部発送。表紙のカット、発送作業のすべてにボランティアの協力を得て、毎月の発行を継続している。

(2) 年刊誌「育てる」の発行

No.59を大阪・神戸事務所あわせて3,400部発行。大阪事務所では会員、里親、関係機関等に1,750部送付した。

【一般向けチラシ・冊子等の作成】

日本財団の助成により、「特別養子縁組について」のリーフレット500部、一筆箋（30枚綴）1,000

部を作成した。

【情報誌等への広告掲載】

新聞折り込みタウン紙「ウーマンライフ」東大阪版（8月12日 10万部）に里親広告を掲載した。

【愛の手街頭キャンペーン】

里親制度や協会活動のための街頭キャンペーンには、平成6年度から大阪曾根崎ライオンズクラブのご支援を得ている。この活動はクラブの奉仕活動として位置づけ、取り組んでいただいている。

児童福祉月間である5月26日、里親月間である10月6日に、大阪市北区にある阪急メンズ大阪付近で実施した。協会活動の趣意書をつけた玩具（1,000個）を大阪曾根崎ライオンズクラブのメンバーとともに感染対策をして通行人に配布し、里親制度及び協会活動の広報をおこなった。玩具の購入および、チラシ付けも大阪曾根崎ライオンズクラブのメンバーがおこなってくださった。毎日新聞とテレビ大阪の取材を受け、Yahoo!ニュースでも紹介された。

【里親いろいろ応援団】

大阪市里親施策推進プロジェクト会議の活動の一環で、平成21年度より市民ボランティア「里親いろいろ応援団」として活動、協会が事務局となって活動をおこなってきた。大阪市里親施策推進プロジェクト会議の解消により、平成30年度末をもってその一環としての活動は終えた。それ以降、自主的な市民ボランティア団体としての「里親いろいろ応援団」の活動となり、縁活とイエローレシートキャンペーンは継続して団員がおこなっている。

毎月11日	イオンモール鶴見緑地にて、「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加。買い物客がレジ精算時に受け取った黄色レシートを応援したい団体の投函BOXへ入れると、購入金額合計の1%が希望する品物（イオンギフトカード）で寄贈されるしくみである。令和4年度は61,400円の寄贈があり、備品などを購入した。
12月4日（日）	あべのハルカス近鉄本店 縁活プロジェクト「里親ってなあに？」クリスマスカード作り、リコーダーコンサート、里親支援機関による出前相談会

【H2Oサンタ関連】

阪急・阪神百貨店を中心とした、H2Oリテイリンググループの社会貢献団体である、H2Oサンタの協力により、広報活動をおこなっている。コロナ禍で中止されていたチャリティートークイベントがようやく再開された。再開第1回目の10月15日に招かれ、団体紹介とリコーダーミニコンサートをおこなった。

また、8月3～8日の6日間、2月16～19日の4日間、阪急百貨店うめだ本店9階で開催されたNPOフェスティバルでブースに出展し、リーフレットなどを挟んだクリアファイルを合わせて800部配布した。両期間ともブースには職員が常駐できるようになり、里親制度に関心のある人が相談に立ち寄られることもあった。また、連日、トークイベントとリコーダーミニコンサートをおこない、来場者に関心を持っていただくことができた。

1月には、H2Oサンタの従業員ボランティア3名が、福飴の通販の発送作業にご協力くださり、その様子を社内報アプリに掲載いただいた。

【JAMMINコラボTシャツ】

1月23～29日の1週間、京都にあるチャリティー専門のファッションブランドJAMMINとコラボし、チャリティーTシャツなどを販売した。令和2年8月に続き、2回目のコラボである。JAMMINでは、毎週、1週間限定でNPO団体等とコラボし、団体の活動を表現したデザインのチャリティーアイテムを販売、サイトでは団体の活動について詳細に紹介している。今回は30歳の養子の男性が取材に協力してくれた。チャリティーアイテムの売り上げの一部が団体への寄付となる仕組みで、チャリティー総額は262,340円となった。サイトでの団体紹介は継続して閲覧できるようになっている。

【イメージソングの活用】

協会を通じて養子を迎えた養親から、シンガーソングライター松藤量平氏のクラウドファンディング

で協会のイメージソングを作らないかと持ちかけられた。協会に関わる養親子家族だけでなく、全国の養親子家族に元気になってもらえるような歌にしてほしいと、松藤氏に依頼し、協会のイメージソング『あいので』（作詞作曲：松藤量平）が令和3年7月に完成した。松藤氏によるミニライブが1回開催できる予定であるが、コロナ禍のために令和4年度中も実現できなかった。H2Oサンタのトークイベントや広報イベントなどの場面で流している。

【毎日新聞その他による報道記事】

- R4. 5. 27 「里親制度 関心寄せて 大阪・北区で街頭キャンペーン」（毎日）
 5. 28 「31人が里親家庭へ 年次総会で報告」（毎日）
 9. 18 「子どもに知る選択肢を 私を探して 出自を知る権利⑥」（熊本日日）
 10. 7 「里親制度に理解を 大阪・北区で街頭キャンペーン」（毎日）
 R5. 1. 24 「コラボTで里親探し応援 促進協とJAMMIN」（毎日）
 1. 24 「里親活動Tシャツで協力 大阪の家庭養護促進協 発売」（読売）
 1. 27 「養子縁組のこと知ろう 家庭養護促進協会が催し」（毎日）
 1. 31 「落語家と学ぶ養子縁組 来月、大阪で」（毎日）
 2. 6 「養子縁組 理解深める 此花 家庭養護促進協が催し」（毎日）

【各地・各団体での講演会等で講師として活動の紹介等をした】

- R4. 6. 19 令和4年度近畿地区里親研修会（於：京都市）分科会講師（岩崎）
 6. 22 和歌山県里親支援センターほっと「令和4年度里親スキルアップ講座」講師（中島）
 7. 9 大阪市週末里親相談会で体験発表（山上）
 10. 2 山口県乳幼児養育里親育成研修特別講義にて講師（山上）
 10. 13 令和4年度難波市民学習センターネットワーク型市民セミナー「新しい家族のカタチ」『わたしたちは、こうして親子になった』講師（中島）
 10. 21 和歌山県第3回紀北里親支援連絡会・研修会で講演（岩崎）
 11. 6 埼玉県里親会第2回会員研修会で講演（岩崎）
 12. 9 日本子ども虐待防止学会第28回学術集会ふくおか大会公募シンポジウム発表者（岩崎）
 12. 10 I V F大阪クリニック「第59回LaLa Cafe」講師（中島）
 R5. 3. 8 おおさか不妊専門相談センター主催「親になりたいを叶えるもう一つの選択肢『養子・里親』を考える」講師（和田）
 3. 26 食育情報交換会「おたべの会～子育てを楽しむ～」で里親制度と協会の活動紹介（山上）

Ⅲ. 活動資金獲得のための活動

【えべっさん飴売り】

前年度同様、コロナ対策のため、十日戎は神事のみで、露店については自粛要請が出たため、出店できなかった。前年同様、通信販売と事務所での販売を行うことにし、新たにオリジナル珈琲とオリジナル瓦煎餅を仕入れた。沢山のご協力をいただき、新商品である珈琲と瓦煎餅は追加仕入れができるほどであったが、福飴は売れ残ってしまっている。通信販売の発送作業に、阪急・阪神百貨店を中心とした、H2Oリテイリンググループの社会貢献団体である、H2Oサンタの従業員ボランティア3名のご協力をいただいた。

売上げ 553,300円
 寄付 66,710円

Ⅳ. 研修活動

【職員のための研修】

- R4. 5. 25 さめじまボンディングクリニック主催埼玉県特別養子縁組推進事業報告会・講演会「実父母と養父母支援を考える～内密出産は是か非か～」オンライン参加（岩崎）
 6. 19 令和4年度近畿地区里親研修会（山上、中島）

- 6. 28 厚労省主催養子縁組民間あっせん機関との意見交換会オンライン参加（和田）
- 10. 4 マッキンゼー・アンド・カンパニー主催「社会で子どもを育てる～デザイン思考を活用した里親養育推進～」受講（岩崎）
- 11. 7 こころケア医師による研修「感情の育ちについて～感情をコントロールする力を育むには～」オンライン研修受講（山上・中島・和田）
- 11. 16 大阪府里親支援機関動画研修「フォスタリング業務と子どもの権利擁護」出席（中島）
- 11. 29 大阪府里親支援機関動画研修「トラウマの視点からの子どものアセスメントと権利擁護」出席（山上）
- 12. 10 日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会ふくおか大会（岩崎）
- 12. 17 日弁連家事法制シンポジウム「『内密出産』を考える」オンライン受講（岩崎）

V. ホームページ関連

平成 11 年 3 月 18 日に大阪事務所のホームページを開設、令和 2 年に新しいホームページが完成した。イベントの告知や Facebook の情報もトップページに表示している。 <http://ainote-osaka.com>

平成 24 年 10 月に開設した Facebook ページでは、愛の手記事へのリンク、日々の活動についての報告、イベント開催などの告知などを行っている。 <http://www.facebook.com/ainote.osaka>

令和 2 年 8 月に開設した Twitter のフォロワー数は 600 を超え、愛の手の記事のリツイートなどにも協力いただいている。 https://twitter.com/ainote_osaka

令和 5 年 1 月に Instagram のアカウントも開設した。 https://www.instagram.com/ainote_osaka/
ホームページを通じての今年度の書籍購入は 93 件 213 冊。会員入会は 1 件であった。

メール相談については、以下のとおり。地域を問わず、40、50 代以上からの養子縁組希望の問い合わせが多かった。開設からの累積受付件数は 1,704 件となった。メール相談を通じて来所につながった養子縁組希望者が 5 件、週末里親希望者が 2 件あった。

【地域別】		【相談者の年齢】		【相談内容】	
大阪府下	13	10代	0	養子を育てたい	36
近畿圏内	10	20代	2	里親一般について知りたい	0
近畿圏外	17	30代	9	縁組・入籍等の手続きが知りたい	0
海外	1	40代以上	24	週末里親について知りたい、やりたい	2
不明	5	不明	11	国際養子について知りたい	2
合計	46	合計	46	養子になりたい、里親を探してほしい	3
				養育相談	0
				その他	3
				合計	46

海外：アメリカ

VI. 相談事業

【愛の手相談室】

相談の現状については以下のとおり。昨年度の 1.1 倍の数があった。

「縁組後のアフターケア」は、縁組後の養親から養育上の悩みの相談や、養子からのルーツ探しについての相談があった。「その他」には他県の児童相談所や支援機関からの養子縁組にまつわる相談もあった。

相談内容	件数	電話	来所・訪問	備考
養 護 相 談	10	10	0	
養 育 相 談	2	2	0	
縁組後のアフターケア	65	46	19	不登校、ルーツ探し等
継 続 相 談	22	0	22	
そ の 他	28	27	1	特別養子縁組の手続き等
合 計	127	85	42	

【APCC（思春期妊娠危機センター）】

相談件数はかなり減少傾向にある。（相談電話専用番号：06-6761-1115 月～金 10：00～17：00）

【受付件数】 オープン後からの累積受付件数は、6,675件

本年度の相談件数は、以下のとおり。

相談内容	件数	相談内容	件数
妊娠にまつわるもの	4	性病	0
人間関係の悩み	1	近親姦	0
自分の身体の悩み	3	How to Sex	0
マスターベーション	3	養子縁組	0
避妊法について	4	その他	1
同性愛	0	合計	16

Ⅶ. 「ふれあいの家」活動

遠方に住む里親希望者が、対象児童の養育実習のために大阪に滞在する際の宿泊拠点として、1日1,000円の負担（時季により冷暖房費加算有り）で利用してもらっている。千葉県、石川県、大分県から各1組の利用があった。3組目は4年度末時点で実習利用中のため、家賃精算はまだおこなっていない。令和3年に雨漏りがわかったため、台風被害による保険での保障と日本財団の助成を利用し、屋根の修繕工事、部屋の修繕や冷暖房設備の改修をおこなった。

Ⅷ. 大阪市里親制度普及促進事業

平成24年度より、同事業が公募型となり、毎年の応募、審査を経て、委託事業者として選定されていたが、27年度より「愛の手運動」にまつわる部分の事業については、公募型ではなく、協会を指定事業者として委託できることとなった。事業には、愛の手運動による里親開拓、養親希望者への研修、委託里親家庭等への訪問指導・交流支援、全国の児童相談所里親担当者連絡会の企画などが含まれる。

- ・委員として以下の会議に出席した
 - R4.8.8 大阪市里親委託等推進委員会（岩崎）
 - R5.1.31 大阪市里親委託等推進委員会（岩崎）
- ・登録前研修（養親講座）を6月に6組、9月に9組、12月に7組、3月に8組の大阪市在住者が受講した。

Ⅸ. 大阪府里親支援機関業務

平成20年10月に大阪府より里親支援機関としての業務委託を受け、里親制度の普及啓発、里親研修、里親委託推進のための相互交流、施設入所児童を対象とする週末里親事業の実施等を行ってきた。28年6月より委託業務内容に大きな変更があり、養子里親の支援と週末里親事業を中心に行うことになった。事業内容としては、以下のとおりである。

【養子里親支援機関事業】

(1) 養子里親の普及啓発に係る業務

① 2022年度特別養子縁組啓発プログラム「養子のこと、おしえてくれるらしいで しらんけど」

R5.2.5（日）13：30～16：00 大阪市立こども文化センターホール（参加：93名）

第1部 ミニ落語会（露乃棗、桂三風）

第2部 落語家と一緒に知る特別養子縁組制度・里親制度

落語家桂三風氏が、養子縁組や里親制度について様々な質問をし、養親（4歳男児を養育中）、養子（30歳男性）、東大阪子ども家庭センター松井氏、協会職員山上が答えた。率直な質問に、飾らない回答だったことがアンケート結果からも好評であった。（アンケート回収率84%）

②・R5.3.8 おおさか不妊専門相談センター主催「親になりたいを叶えるもう一つの選択『養子・里親』を考える」講師（和田）

③情報誌等への広告掲載

新聞折り込みタウン紙「ウーマンライフ」

＜里親広告＞ 河内版(10月20日)

＜啓発プログラム広告＞ 東大阪版(1月13日)、学研都市版(1月14日) 各10万部

(2)養子里親認定の手続き

・認定希望者の問い合わせ対応や、ガイダンスを協会で行った。

問い合わせ対応 41件

ガイダンスの実施 20件（うち15件が年度内に登録手続き開始）

(3)研修の実施

・登録前研修（養親講座）6月（6組）、9月（3組）、12月（4組）、3月（1組）

・登録前研修（追加分・「子どもに起こりやすい事故の予防と応急手当」）

6月11日（土）（7組）、11月12日（土）（7組）

・施設実習 11組

・更新研修（養親ゼミナールの日にあわせて） 11月12日（5組）

・里親勉強会（同上） 5月14日（5組）、7月16日（1組）、11月12日（3組）、
3月18日（1組）

(4)要保護児童の委託先検討

・随時

(5)子ども家庭センターとの連絡調整

・毎月1回、連絡会議を実施

(6)里親家庭及び委託児童への支援

・初回面会后、実習中は施設への訪問や外出や外泊時の家庭訪問、また委託後は電話やメールでの相談対応、また家庭訪問を随時実施

(7)里親委託等推進委員会調整委員会・里親委託等推進合同連絡会への委員派遣

R4. 6. 9 里親委託等推進合同連絡会出席（田邊）

11. 1 里親委託等推進合同連絡会出席（和田）

R5. 2. 14 里親委託等推進調整委員会（岩崎、和田）

2. 28 里親委託等推進合同連絡会出席（山上）

【週末里親事業】

今年度は20組の週末里親子のマッチングが成立しており、施設で生活する子どもにとって、貴重な家庭生活体験の場になっている。コロナ禍で活動が制限されていた前年よりも回数はかなり増えた。

① 活動実績 34施設 児童137名 里親118組（うち、はぐくみホーム10組）
延べ回数 1060回 延べ日数 1787日（※2泊3日事業の活動含む）

② 2泊3日里親事業

長期休暇中、家庭に帰れない子どもを対象に、待機となっている週末里親希望者の中から協力者を募り、2泊3日の家庭生活を体験することを目的として実施している。

	候補児童	マッチング数	うち週末里親へ移行
夏季	6名（6組）	6組	週末2組（2組調整中）
冬季	5名（5組）	4組	なし（2組調整中）

- ③ 令和4年度新規週末里親子
 協会マッチングケース 14組 児童数15名
 愛の手マッチングケース 5組 児童数5名
 施設内マッチングケース 1組 児童数1名
- ④ 大阪府週末里親懇談会
 R4.11.12(土) 13:30~16:00 大阪市立社会福祉センター
 (参加:週末里親25組35名 里親支援専門相談員5名)
- ⑤ 週末里親研修会
 週末里親活動希望者に対し、社会的養護を必要とする子どもを理解してもらい、子どもが生活している施設の実情を知ってもらうことを目的として実施。
 R4.9.11(日) 13:00~17:00 和泉幼児院 (参加:13組18名)
 ・「社会的養護が必要な子どもの理解」「週末里親と関わりのある子どもについて」
 講師:川上 志穂子氏 児童養護施設和泉幼児院 里親支援専門相談員
 ・施設見学
 ・週末里親体験談(2名)

X. 生活資金・奨学資金貸付制度

愛の手運動を通して里親(養親を含む)に委託された子どものうち、委託解除後に、自立した生活に向けて就労の準備をしている者及び就労中の者、また、高等学校卒業後に専門学校や短期大学、大学等への進学を希望するが必要な学資を他からうけることが困難であると認められる者に対して、生活支援資金や教育支援資金を貸付ける。

令和3年度に性別適合手術をする養子への手術費用50万円を貸し付けた。離職により、返済額を変更したものの順調に返済されている。

X I. その他の活動

◆新聞社他からの取材に対応した。

- R4. 6. 6 NHK大阪放送局鞆田記者
 7. 8 熊本日日新聞清島氏
 8. 29 『月刊厚生労働』のオンライン取材(週末里親対応) 週末里親のIさん、Fさん、Wさんと大阪府福祉部子ども家庭局家庭支援課北氏
 9. 21 NHK鍋島氏が非血縁関係の形成と告知のあり方についての取材
 10. 24 K B S ラジオ「さらピン!きょうと」に電話出演(和田)
 11. 10 大阪福祉防犯協会広報誌「グラスルーツ」ライターの三宅氏
 11. 11 シスコシステムズ合同会社社員研修で話をするため同社大阪支社へ(和田、藤目)
 12. 23 J A M M I N オンライン取材(山上)
- R5. 1. 27 厚生労働省特別養子縁組広報啓発事業に関する取材のため朝日新聞社大島氏、ライター南氏

◆協会活動や里親制度等について知るために以下の人々の訪問があった。

- R4. 4. 19 みてね基金三代さん他4名(オンライン)
 5. 23 S M B C 日興証券株式会社シェーファー氏、一般社団法人ジャパン・フィランソロピック・アドバイザー(J P A)大原氏(オンライン)
 5. 30 S M B C 日興証券株式会社シェーファー氏、一般社団法人ジャパン・フィランソロピック・アドバイザー(J P A)大原氏
 6. 20 豊中市こども未来部の江口氏、佐藤氏
 7. 28 大阪府I氏
 10. 18 大阪府養親の小池氏と友人の平尾氏
 11. 10 広島大学の北原さん

- 11. 30 兵庫県議会議員北浜みどり氏
- 12. 9 I M A S メディカルアロマインストラクター的場氏、中垣内氏
- 12. 19 衆議院議員一谷勇一郎氏
- 12. 21 堺市リーフの山野氏
- R5. 1. 6 大阪南 YMCA 立山館長、並木氏
- 2. 7 株式会社 Peace Festa 越野氏
- 2. 21 あべのハルカス近鉄本店縁活和田氏他 2 名
- 2. 22 音楽フェスティバルウルフェス主催者大山氏
- 3. 13 大阪市市民活動総合ポータルサイト川畑氏

◆以下の企業や団体が愛の手運動のためにという趣旨でイベント等を企画し、その収益を活動資金等として寄贈いただいたり、社内で募金活動を行ってくださったりした。いずれの場合も、単にご寄付を受けたということだけではなく、愛の手運動のPR活動としての効果もあり、感謝している。

*H20サンタ関連 (510,013 円)

*一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会 泉州支部 (207,994 円)

*大阪曾根崎ライオンズクラブ (100,000 円)

*大阪さくらライオンズクラブ (50,000 円)

*第一工芸株式会社 (28,320 円)

*株式会社東和総合サービス 大阪本社 (18,187 円) 東京本社 (26,832 円)

*向井珍味堂 (14,572 円)

*懐メロ保存会リベリカ本店 梶川幸子 (130,000 円)

◆月1回、府子ども家庭センター里親担当者会議に出席し、大阪府子ども家庭センター、大阪市こども相談センター、堺市子ども相談所との連絡調整に努めた。

◆文部科学省科学研究費が認められた兵庫県立大学古川恵美教授の「発達障害のある子どもの里親・養親を対象としたペアレントトレーニングの開発」研究に協力した。今年度は、新たに1組の親子を実施した。

◆季節里親をしているシスコシステムズの方から、協会活動を広く社員に知ってもらうため、また協会活動への支援のため、会社の寄付団体として登録することを提案された。理事会で検討の上、登録の手続きを進めていき、8月3日に登録されたと連絡があった。その後4回合計139,917円の寄附をいただき、ネットワーク保守料等に活用した。